学校番号	305

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（学）社会とメディア	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会と密接にかかわっている各メディアの特性とＳＮＳなどのネットワーキングサービス、情報の正確性などの分野を学習します。Chromebook による調べ学習やグループワーク、YouTube などの動画サイトからの動画教材などを使用しながら発表や考察などを行います。

また、テレビやラジオ・インターネットの発展から社会とメディアの関連性を考え、時代に合わせたＣＭ・企業広告の在り方や伝え方、世代を分けた効果的な方法を考察するなど、ペアワークやグループワークを通して、自らが生きていく現代社会の課題・問題点への気づきと課題解決への思考力・判断力の育成を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代社会の諸問題に気付き、その問題の解決と原因の一端にメディアが関係していることを理解し、正確に社会とメディアの関係性を考え、まとめ、理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
ＳＮＳの学習やニュース番組を作るワークをしていく中で、フェイクニュースやあいまいな情報に流されず、自分の力で正確な情報を取得し、精査して、資料を作成し、発表を行うことができる。また、情報の受け取り手側も、学習内容やワークの発表内容に対して情報の真偽を自分なりに調べ、正しい情報の再構築を行うことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、メディアが抱える現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代社会の生き方やあり方、我が国及び国際社会がはらむ問題に自ら課題意識を持ち、積極的に解決策や有用な利用法を考えようとする意識や態度を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	メディア・ＳＮＳの持つ性質・性格を正確に捉え、それとつながる現代社会の諸課題を考察し、その概念や理論について理解するとともに、グラフや動画などの諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	ＳＮＳやインターネットなどの普及により起こった社会の変化や、ＳＮＳなどを利用したマーケティングなどの課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断し、合意形成や表現方法を考えて現代社会とメディアの在り方について議論や発表を行う事ができる。	様々なメディアの進化とその利用法、現代社会に与える影響を自分なりに分析、考察、展開、発表を行い、現代の諸課題を積極的に知ろうとし、主体的に解決・改善策を考えようとしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代社会とメディアのはらむ光と闇	・現代社会とメディア ・メディアとは何か？ ・SNSの進歩とSNSがはらむその光と闇 ・メディア社会学とコミュニケーション ネットニュースの記事を読んで、ニュースの分析とコメントを記入するとしたら？	a:現代社会とメディアとのつながり、ＳＮＳが現代社会に与えている影響や著作権問題など、様々な課題や問題点に関する正確な知識の定着を理解している。各種グラフや表の数字などを使用し分析する技能を身につけている。 b:メディアの持つ性格、フェイクニュースの怖さや影響力、ＳＮＳのはらむ現代社会への問題を、ペアワークやグループワーク、個人課題を通して、多面的・多角的に考察・判断し表現できる。 また、情報の受け取りや利用の正確性を判断することができる。 c:現代のメディアとＳＮＳの利用による現代社会がはらむ諸課題の解決に向けて積極的にかかわろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・レポート	・定期考査 ・グループワーク・個人ワークの成果物 ・教材内・配信課題の思考・判断問題	・課題レポート ・授業ワークシートなど提出物 ・グループワーク、個人ワークへの参加姿勢 ・振り返り
2学期	現代社会のありようとメディアの歴史	・現代社会においてテレビ離れはなぜ進むのか ・ラジオ・テレビの歴史 ・地域情報のＳＮＳ発信と地域振興 ・現代社会とｅ―Sports	a：テレビ・ラジオの歴史を見ることで、現代社会に与えてきた影響や人々の生活の変化などに関しての知識を理解している。また、現代社会に登場したスマートフォンやタブレット、アプリケーションとテレビ・ラジオの娯楽的な関係を理解している。 また、インターネットやｅ―Sportsにおける、各種グラフや表の数字などを分析する技能を身につけている。 ｂ：現代社会とテレビ離れの問題や視聴率、YouTubeなどの配信コンテンツとの関係や地域振興へのＳＮＳ利用に関する、ペアワークやグループワーク、個人課題を通して、多面的・多角的に考察・判断し表現できる。 c：メディアリテラシーやＢＰＯによる放送倫理による問題やテレビ・ラジオの持つ有用性や問題点の解決に向けて積極的にかかわろうとしている。 地域振興のためのＳＮＳ利用法とワークに積極的に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・グループワーク・個人ワークの成果物 ・教材内・配信課題の思考・判断問題	・課題レポート ・授業ワークシートなど提出物 ・グループワーク、個人ワークへの参加姿勢 ・振り返り

3学期	正しい情報を正しく伝えるために	・ニュース課題 ・「報道番組を作ろう」のグループワーク、中継発表 ・現代社会とメディアとは	a：報道の正確性、重要性に関してを正しく把握し、ニュース番組や報道関係の持つ様々な課題や問題点に関する正確な知識の定着を理解している。 誤った情報だけでなく、その時点での最新かつ最も正確な情報を分析し、資料を作成し、発表する技能を身につけている。 b：時間を設定した報道番組の作成をワークで行うことにより、メディアのもつ重要性や即効性・取り上げるテーマの多様性などを、ペアワークやグループワーク、個人課題を通して、多面的・多角的に考察・判断し表現できる。 c：自ら課題であると思う現代社会の諸問題を取り上げ、正確に他者に伝えることや他者からの情報の受け取りの重要性を理解し、ワークに積極的にかかわろうとしている。	・レポート ・配信課題 ・ニュース課題	・レポート ・グループワークの発表内容 ・グループワーク・個人ワークの成果物	・授業ワークシートなど提出物 ・グループワーク、個人ワークへの参加姿勢 ・振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度